

あし

ハイキングクラブ



# ちんぐるま

第332号

2017年6月8日発行

## 先月の山行

- ☆ 5月 7日(日) 鷲走ヶ岳 山行報告参照
- ☆ 28日(日) 奥獅子吼 山行報告参照

## 6月の予定

- ☆ 4日(日) 一般参加登山会、浄法寺山
- ☆ 11日(日) 三十三間山  
CL
- 18日(日) 行人山、桃木峠
- ☆ 25日(日) 姥ヶ岳  
CL 宮本重信

## 7月の予定

- ☆ 2日(日) 母袋鳥帽子山 鳴谷山
- 13日(木) 例会
- ☆ 14日(金)～17日(日) 北岳  
CL 宮本重信参加者は7月7日までに
- 26日(水)～27(木) 白山

- 8月3日(木) 納涼会
- 10日(木) 例会
- ☆ 6日(日) 白山
- 11日(祝) 三の峰

## 山行申込み方法

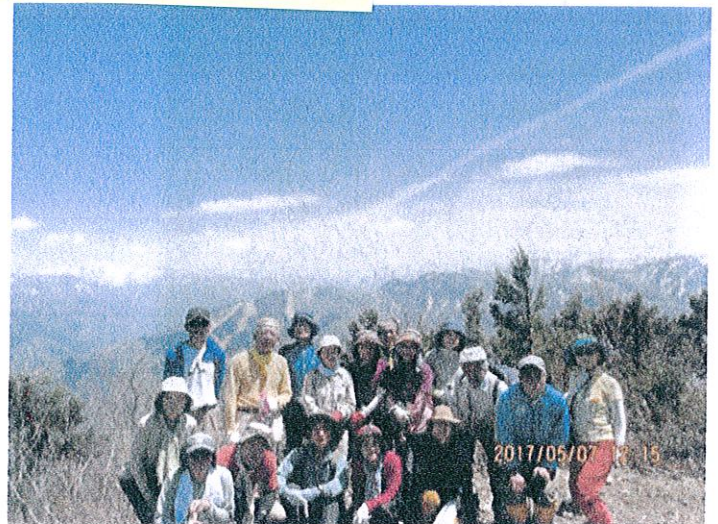
- ・山行申込みの基本は例会時です。(都合により例会に出席できないが、山行込みをした場合は、例会当日20時半頃、宮本の携帯090-8260-8108へ連絡してください。)
- ・例会時に未定であったり、山行申込済で都合によりいけなくなった場合は、前々日夜までに山行リーダーへ直接連絡してください。

## 山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

## 鷲走ヶ岳 (1096.8m)

日時 2017年5月7日(日)



6時に県雪研事務所に集合。前田さんの車に鈴木さん、尾谷さんと同乗する。今回は伊部さんが奥さんを伴っての登山で、伊部さん夫妻を除き、四台の車に分乗する。

まず、グリーンセンターで伴藤さん達と合流。ここから、九頭竜川沿いに勝山をめざす。勝山市から恐竜博物館の脇を通過して国道157号に入る。白山市白峰を通過し、昔勤務した桑島地区を懐かしく思いながら進む。

旧尾口村の東二口から登ると思っていたが、鵜ヶ谷大橋の付近から登ることになる。よって、手持ちの地図に含まれないルートでの山行きとなる。作業道の脇に車を止め、八時に登山開始となる。

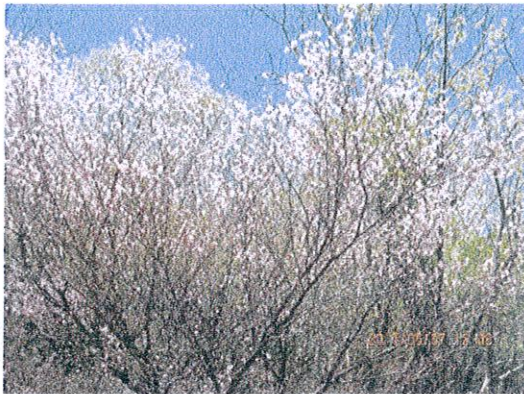
右手には、立派なブナ林が続き、「こんな近い所に、いいブナ林がありますね」と話す。ここは、保健保安林に指定されている。鵜ヶ谷は、23歳の時、広島から桑島担当区主任として赴任した時に白峰村との官行造林地契約の森林があるため、何度も現場巡視や保育事業の監督で出向いた所だ。

当時は、戦後に村長を務めた桑島在住の竹腰さんに案内をしてもらって、現地に行ったことが懐かしく思い出す。

しばらく作業道を進み、終点付近から山道に入る。しかし、ここは歩く人が少ないようで、小さな木々が歩道に被さってきている。春先は倒木が多いので、持参していた鉋で、時々、行く手を遮る枝を払いながら進む。

やや急な斜面があり、ロープが取り付けられている箇所に通りつく。ここは、慎重に進むため、やや渋滞する。付近にヒトリスズカが綺麗に咲いている。今まで、これだけ綺麗に咲いているのは見たことがなかったので、感動するとともに、カメラを向ける。

しばしの間、谷沿いに進むと、視界が開け林道に出る。ここからは、ひたすら林道を突き進むことになる。しばらく進むと、道上にキンキマメザクラが綺麗に咲いている。高い所だからか、先はじめだからか濃いピンクで美しい。



緩やかな林道を歩く。通常の登山と違う雰囲気だ。しかし、途中の杉林の中では、雪がたくさん残っている。「今朝、長靴はいらないか？」と尋ねたが、「いない」とのことだったが、こんな所で雪があるのだから行く手には、まだ多くの雪が予想される。幾分除雪をした様子もあり、濡れずに歩くことができた。

周辺の木々や草花を確認しながら歩く。道端の所々にヒメコマツの幼木4mほどの幼木を目にする。

このあたりからコシアブラやコゴミ、タラの芽などの天ぷらの食材調達の準備にかかる。しばらく進むと広いスギ林の中を通過する。雪の上を歩きながら進むと前方に小さな山小屋が見える。ここで天ぷらをすることになる。

そこには山小屋の所有者がおられたので、小屋敷や水を利用することへの了解を得る。

気になったので「旧尾口村の方ですか？」と尋ねると「白峰村桑島の者です」とのこと。懐かしい桑島の方との出会いで、しばらく桑島の話をする。私がお世話になった杉田さん、新田さん、竹腰さん、山本さんの話をすると「わしは以前、杉田さんがやっていた製材所で働いていた。弟さんとも親しい」とのこと。こんな所で、このような人に出会うとは縁があると思う。

せっかくなので、お名前を聞き、伊部さんをお願いして、一緒に写真を撮っていただく。後で写真を送るので、住所もメモする。

お名前は西岸さんで、手取りダムが出来た際に離村

し松任市(現・白山市)に移り住んだとのこと。

西岸さんと話し込んでいるうちに、みんなは天ぷらを肴に早い食事をとっている。宮本会長に「西岸さんにあげる分はないですか？」と尋ねると、早速、準備してくる。そばを西岸さんにお渡す。

今日は、そばが主食で、「石塚さんも早く食べたら！」と勧められ、山水で冷やした冷たいそばにそばつゆと鰹節を掛け、美味しくいただく。見ると伴藤さんは、天ぷらを揚げるのが忙しくそばを食べる暇もなさそうだったので、そばを食べ終わると、天ぷら揚げの担当を交代する。

大勢なので、揚げた天ぷらはまたたく間になくなる。天ぷら粉が切れたところで、終了とする。

腹ごしらえを完了し、11時頃に西岸小屋を出発。また林道を登り、途中で主線と合流する。ここを左手にとり、鷲走ヶ岳の左側の中腹を進む。30分位歩いたところで、鷲走ヶ岳への山道を登り始める。途中、風雪に耐えたスギの天然木が独特の樹形をしているので、写真に収めながら進む。さほどの登りではなかったが、30分で到着する。手前には北陸電力のマイクロウェーブの反射板がある。

ここからは、白山方面がよく見える。丁度小松航空自衛隊のスクランブルかジェット機が二機通過する。雪をいただいた白山、ぽっかり浮かんだ白い雲、ジェット機の白い飛行機雲が描く素敵光景を写真の撮る。山では、その時々環境により、思いがけない景色を見せてもらえる。

山頂では、金沢から来ている方がゆったりとくつろいでいる。山頂からは、左から大笠山、笈ヶ岳、白山などの山々が見え、最高の日和に感謝する。

そこには、方位盤が設置されているので、早速、山の名前を確認する。「書いてある山の位置とあわないぞ！」と思い方位盤の下を見ると、基礎と方位盤がずれている。

ほとんどの人は、リュックを西岸小屋に於いてきたが、私は、リュックを離すのは寂しく、さほど重くもないので担いで移動していた。

山頂で、おにぎり一個とおかずを平らげる。「石塚さんもうお腹すいたの？」と言われたが、「小屋では、西岸さんとしゃべっていて、そば一杯食べただけで、天ぷらはほとんど食べてないから」と答え、本当の昼食を済ませる。

12時15分頃には下山開始。山小屋には20分程で到着する。今日は、ほとんど給水しないで歩いてきたが、冷たい山水が恋しくて、小屋脇の水をいただく。

帰りの林道脇で、今年初めて見るサンカヨウの花を撮影する。更に進むと鈴木(すすき)さんが「瀬名個高原スキー場がもうあんなに下に見える。かなり降りてきたんだね！」と山頂で下に見下ろしたスキー場を指し示す。(足を一步前に出せば降りてくると一笑)

ここでもぽっかり雲が浮かんでいる。更に林道を下り、後ろを振り返ると鷲走ヶ岳に続く尾根の新緑が目に入る。林道の山側には雪が残っている。やや冷たい風が時々吹くが、暖かな日差しと相まって、さわやかな気分下山する。14時過ぎには、登った登山口に到着する。

ここで、今日の温泉はどこにするかと言われたので、白峰の織田さん家に顔を出して帰りたかったので、「できれば白峰温泉の総湯にさせていただけると嬉しいんですが」とお願いすると、宮本会長が「石塚さんの希望もあり、白峰温泉でいいですか」と確認してくれ、今日の温泉は白峰の総湯に決まる。「みなさん有難うございます」と感謝し、前田さんの車に乗り、総湯を目指す。

20分程度で総湯に到着。30分程度入浴。露天風呂で新緑の山を眺めながらお風呂を楽しむ。いつも思うが、肌がつるつるになるお湯に浸る。早めに風呂を上がり、総湯近くに住んでいる織田さん宅に寄る。下山した時、3時頃ならいると言っていたが、本人は留守。奥さんがいらしたのでご挨拶して帰る。帰りには、「今日、少ししいたけが生えていたので持って帰って!」と、しいたけをいただく。

その後、お風呂のサービス券を使いソフトクリームを200円で仕入れ、食べながら総湯に戻ると、前田さんが声を掛けてくれ、他の人は既に帰ったとのこと。

「尾谷さんは、どうも伊部さんの近所の方のようで、伊部さんの車に乗りました」とのこと。帰りは森田さんの3人となる。帰路は勝山から中部縦貫道路の無料区間を使って帰る。雪研事務所には4時半頃到着。楽しい一日は終了する。



## 奥獅子吼山 928m

日 時 2017年5月28日(日)



金沢市のお隣「鶴来」(白山市)の白山比<sup>しらやま</sup>め 神社ふもとから登りました。2016年10月30日(日)に倉ヶ岳に登りましたがその奥にある山でした。

雪研6時半集合、2台の車に分乗してすぐに出発、途中のコンビニで待っていた仲間も合流、計3台の車で行きました。

登山口出発8時半ごろ頂上には予定通り11時半に。高低差は余り感じない歩きやすい道でした。

この時期は、日陰があり、当日は心地よい風もあり、森林浴たっぷりの山行となりました。見晴らしの良いところでは、手取川扇状地から海まできれいに見渡せました。パラグライダーで空を泳いでいる人たちが10人近く確認出来ました。

花が少ない時期とはいえ、朴の木には白い花が咲いていました。足元にはオウレンの実、カタクリの実、ちごゆりの花、他にもいろいろありました。

頂上の気候は暑くもなく、寒くもなく、虫も全くいなくて、ゆっくりと昼食をいただくことが出来ました。今回、伴藤さんが用意してくださったのは、肉と野菜たっぷりの焼うどん。わたくしは美味しく頂きました。

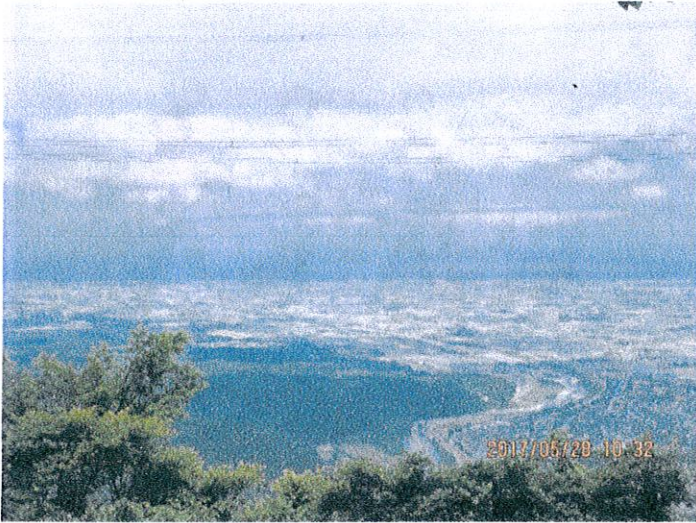
頂上の展望は360度見晴らしがよく、白山も見えました。地図がないので他の山は確認出来ませんでした。いつもと違って、今回は60分も頂上に居ました。

下山開始が12時半ごろ。ひたすら下って、登山

口、駐車場へは、14時半予定通り到着。

そこから、10分ほど車を走らせ、里の湯温泉へ。お風呂に入ると疲れが取れ、気分もさっぱり。福井には17時ごろ到着。

登りも下りも途中見晴らしの良いところや木陰で3回ほど小休憩をとりながらの登山でした。私は7ヶ月ぶりの山行でとても疲れましたが、ゆっくり登れば、まだしばらく仲間で居られるかなと思いました。車を運転してくださった方、ありがとうございました。



奥獅子吼山より手取川沿い

宜しくお願ひ致します。

#### 編集後記

県操法大会出場になり毎朝4時起床、練習になります。つきましては例会出席が難しく6月と7月、記入もれや発送の不備等あると思いますがご了承下さい。各自CLを確認されて山行参加して下さい。

ご迷惑をお掛けしますが宜しくお願ひ致します。